

令和3年度第2回高知県農業経営・生産対策等に関する第三者委員会議事概要

- 1 開催日時 令和3年12月7日(火) 13:30~15:30
開催場所 高知共済会館4階会議室「浜木綿」
出席者 委員3名(玉里委員長、前田委員、濱口委員)
- 2 議事内容 多面的機能支払交付金の中間評価報告書について
- 3 議事概要 ※■委員の質問・意見 □事務局の回答
第1章 取組の推進に関する基本的考え方、第2章 多面的機能支払交付金の実施状況
■第1章の表現は県の要綱基本方針から変更しているのか。
□変更していない。
■報告書は公開されるのか。
□県のホームページにおいて今後公開する。また、各都道府県で作成された報告書は、国でとりまとめを行った後、国の第三者委員会で審議される予定である。
■集落営農の取組は西高東低の状況なのか。
□そのとおり。露地栽培の多い県西部で集落営農が盛んに行われている傾向がある。

第3章 多面的機能支払交付金の効果

- 県が力を入れて取り組んだ点をもっと記載して欲しい。
- 人材確保が困難なことや人口減が目立った効果が現れてない印象を受ける。内容に「環境が変わってきて、集落のおかれている状況が厳しくなっている」というような表現を入れた方が良い。
- 取組が難しい点もあるので、「できない」という評価でも良いと思う。
- 「地域の環境の保全・向上(生態系)」の活動については低評価(d)だが、正確な評価が出来ていないのではないのか。
□調査対象となったのは1組織のみであった。ただ、調査対象外の組織では、高知大学と協力して生物調査を行っている組織もある。
- 「地域住民の防災・減災に対する意識の向上、体制の強化」については低評価(d)だが、防災の活動については、本交付金とは別の組織で実施されており、あえて本交付金で取り組む必要がないと思われる。他で実施されていることを記載して欲しい。
- 経済活動がc評価と低いのはさみしい。

第4章 対象組織の自己評価に対する市町村評価

- 進捗状況の評価の形式は国の指定なのか。
□そのとおり。

第5章 取組の推進に係る活動状況

- 県や協議会のホームページに動画など皆で見られるものがあれば良いと思う。
- 全体的に評価が厳しすぎる。

第6章 取組の推進に関する課題、今後の取組方向等

- 本交付金によりできたこと(良い点)も評価すべき。
- 核となる人材がいる、他の目的で設立された組織を上手く活用することが望ましいなど、必ずしも農業者中心出なくても良いという視点があるとよい。集落支援員や地域おこし協力隊などによる支援も可能性があるのではないのか。
- 本交付金で取り組まなくても良い活動もある。県として取捨選択も必要ではないのか。

- 「地域の環境の保全・向上（生態系）」の活動については人的資源の不足も低評価の原因となっているのではないか。外部組織との連携なども必要と思われる。